

(正誤表)

令和2年度 高レベル放射性廃棄物等の地層処分に係る技術開発事業 TRU廃棄物処理・処分技術高度化開発 Appendix 令和3年3月

ページ	場所	種類	誤	正																																																														
v	14行目 (図 2.1-43)	図目次	<u>実照射線量</u> と容器内圧力の上昇との関係	<u>吸収線量</u> と容器内圧力の上昇との関係																																																														
I-17	7～8行目 11行目	本文 本文	<u>照射線量率</u> は、約 1kGy/h で、約 2 日間室温にてγ線照射を行った。 <u>照射線量</u> は、1kGy/h×5 時間=5kGy とし、	<u>試料設置位置における吸収線量率</u> は約 1kGy/h であり、約 2 日間室温にてγ線照射を行った。 <u>吸収線量</u> は、1kGy/h×5 時間=5kGy とし、																																																														
I-18	3行目 15～16行目 16行目	本文 本文 本文	<u>試料への照射線量</u> の測定は線量計（アミノグレイ）を用いた。 <u>試料に対する実照射線量</u> は、ステンレス製容器及び試料による遮蔽により減衰することが考えられる。 そこで、 <u>実照射線量</u> に補正するため、	<u>試料の吸収線量</u> の測定は線量計（アミノグレイ）を用いた。 <u>試料の吸収線量</u> は、ステンレス製容器及び試料による遮蔽により減衰することが考えられる。 そこで、 <u>減衰による影響</u> を補正するため、																																																														
I-19	12～14行目	本文	モルタル試料の線量測定においては、線量計を照射容器と同一のピアレックスガラス製の試験官に入れ、試料容器の横に配置し、試料の照射と同時に <u>γ線照射累積線量</u> を測定した。	モルタル試料の線量測定においては、線量計を照射容器と同一のピアレックスガラス製の試験官に入れ、試料容器の横に配置し、試料の照射と同時に <u>γ線吸収累積線量</u> を測定した。																																																														
I-24	2～3行目	本文	なお表に示した <u>実照射線量</u> は、圧力容器のステンレス壁による線量の減衰 0.2%を補正した値を示す。	なお表に示した <u>吸収線量</u> は、圧力容器のステンレス壁による線量の減衰 0.2%を補正した値を示す。																																																														
I-24	表 2.1-18	表	<p>表 2.1-18 照射試験測定結果（試料の大きさによる水素ガス発生の違いの確認）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験No.</th> <th rowspan="2">試料概要</th> <th rowspan="2">実照射線量 kGy</th> <th rowspan="2">試料質量 g</th> <th colspan="2">照射前</th> <th colspan="2">ガス採取時</th> <th rowspan="2">水素発生量 μ mol/g/kGy¹⁾</th> </tr> <tr> <th>温度 ℃</th> <th>容器内圧 kPa</th> <th>温度 ℃</th> <th>容器内圧 kPa</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1)-①</td> <td>OPCペースト、 W/C=0.45、表乾 Φ60mm×150mm</td> <td>43.16</td> <td>793.8</td> <td>22.0</td> <td>104.3</td> <td>21.3</td> <td>113.1</td> <td>0.0031</td> </tr> <tr> <td>1)-②</td> <td>OPCペースト、 W/C=0.45、表乾 Φ67mm</td> <td>37.74</td> <td>653.0</td> <td>24.6</td> <td>102.4</td> <td>22.1</td> <td>96.1</td> <td>0.0051</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 単位に記されている kGy は、表中の<u>実照射線量</u>（水換算）を示す。</p>	試験No.	試料概要	実照射線量 kGy	試料質量 g	照射前		ガス採取時		水素発生量 μ mol/g/kGy ¹⁾	温度 ℃	容器内圧 kPa	温度 ℃	容器内圧 kPa	1)-①	OPCペースト、 W/C=0.45、表乾 Φ60mm×150mm	43.16	793.8	22.0	104.3	21.3	113.1	0.0031	1)-②	OPCペースト、 W/C=0.45、表乾 Φ67mm	37.74	653.0	24.6	102.4	22.1	96.1	0.0051	<p>表 2.1-18 照射試験測定結果（試料の大きさによる水素ガス発生の違いの確認）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験No.</th> <th rowspan="2">試料概要</th> <th rowspan="2">吸収線量 kGy</th> <th rowspan="2">試料質量 g</th> <th colspan="2">照射前</th> <th colspan="2">ガス採取時</th> <th rowspan="2">水素発生量 μ mol/g/kGy¹⁾</th> </tr> <tr> <th>温度 ℃</th> <th>容器内圧 kPa</th> <th>温度 ℃</th> <th>容器内圧 kPa</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1)-①</td> <td>OPCペースト、 W/C=0.45、表乾 Φ60mm×150mm</td> <td>43.16</td> <td>793.8</td> <td>22.0</td> <td>104.3</td> <td>21.3</td> <td>113.1</td> <td>0.0031</td> </tr> <tr> <td>1)-②</td> <td>OPCペースト、 W/C=0.45、表乾 Φ67mm</td> <td>37.74</td> <td>653.0</td> <td>24.6</td> <td>102.4</td> <td>22.1</td> <td>96.1</td> <td>0.0051</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 単位に記されている kGy は、表中の<u>吸収線量</u>（水換算）を示す。</p>	試験No.	試料概要	吸収線量 kGy	試料質量 g	照射前		ガス採取時		水素発生量 μ mol/g/kGy ¹⁾	温度 ℃	容器内圧 kPa	温度 ℃	容器内圧 kPa	1)-①	OPCペースト、 W/C=0.45、表乾 Φ60mm×150mm	43.16	793.8	22.0	104.3	21.3	113.1	0.0031	1)-②	OPCペースト、 W/C=0.45、表乾 Φ67mm	37.74	653.0	24.6	102.4	22.1	96.1	0.0051
試験No.	試料概要	実照射線量 kGy	試料質量 g					照射前		ガス採取時			水素発生量 μ mol/g/kGy ¹⁾																																																					
				温度 ℃	容器内圧 kPa	温度 ℃	容器内圧 kPa																																																											
1)-①	OPCペースト、 W/C=0.45、表乾 Φ60mm×150mm	43.16	793.8	22.0	104.3	21.3	113.1	0.0031																																																										
1)-②	OPCペースト、 W/C=0.45、表乾 Φ67mm	37.74	653.0	24.6	102.4	22.1	96.1	0.0051																																																										
試験No.	試料概要	吸収線量 kGy	試料質量 g	照射前		ガス採取時		水素発生量 μ mol/g/kGy ¹⁾																																																										
				温度 ℃	容器内圧 kPa	温度 ℃	容器内圧 kPa																																																											
1)-①	OPCペースト、 W/C=0.45、表乾 Φ60mm×150mm	43.16	793.8	22.0	104.3	21.3	113.1	0.0031																																																										
1)-②	OPCペースト、 W/C=0.45、表乾 Φ67mm	37.74	653.0	24.6	102.4	22.1	96.1	0.0051																																																										

ページ	場所	種類	誤	正																																																																																																																																																																																																																												
I-25	30～31行目	本文	なお、表中の2)-③及び2)-④は、 実照射線量を変えた場合に 線量当たりの水素発生量が変わるかを確認したものである。	なお、表中の2)-③及び2)-④は、 吸収線量が異なる条件で 線量当たりの水素発生量が変わるかを確認したものである。																																																																																																																																																																																																																												
I-25	表 2.1-19	表	<p>表 2.1-19 照射試験測定結果(コンクリート配合による水素発生量への影響確認、コンクリート)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験No.</th> <th>試料概要</th> <th>実照射線量 kGy</th> <th>試料質量 g</th> <th>ガス取り出し時の温度 ℃</th> <th>大気圧 kPa</th> <th>測定系容器内圧力 kPa</th> <th>系統容積 ml</th> <th>水素濃度測定値 ppm</th> <th>水素発生量換算 μmol</th> <th>水素発生量 μmol/g/kGy¹⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2)-①</td> <td>OPCコンクリート 20℃封緘 4W 表乾</td> <td>5.6</td> <td>977.611</td> <td>24.9</td> <td>99.9</td> <td>118.9</td> <td>250.3</td> <td>1420</td> <td>17.3</td> <td>0.0032</td> </tr> <tr> <td>2)-②</td> <td>OPCコンクリート 20℃封緘 4W + 80℃ 1W乾燥</td> <td>5.6</td> <td>930.753</td> <td>24.5</td> <td>102.1</td> <td>118.4</td> <td>277.6</td> <td>151</td> <td>2.0</td> <td>0.0004</td> </tr> <tr> <td>2)-③</td> <td>OPCコンクリート 20℃封緘 8W 表乾</td> <td>7.2</td> <td>987.835</td> <td>28.1</td> <td>100.0</td> <td>124.2</td> <td>243.8</td> <td>2005</td> <td>24.6</td> <td>0.0035</td> </tr> <tr> <td>2)-④</td> <td>OPCコンクリート 20℃封緘 8W 表乾</td> <td>24.5</td> <td>969.497</td> <td>28.1</td> <td>100.2</td> <td>110.8</td> <td>250.8</td> <td>6065</td> <td>68.1</td> <td>0.0029</td> </tr> </tbody> </table> <p>1)単位に記されている kGy は、表中の実照射線量 (水換算) を示す。</p>	試験No.	試料概要	実照射線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度測定値 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量 μmol/g/kGy ¹⁾	2)-①	OPCコンクリート 20℃封緘 4W 表乾	5.6	977.611	24.9	99.9	118.9	250.3	1420	17.3	0.0032	2)-②	OPCコンクリート 20℃封緘 4W + 80℃ 1W乾燥	5.6	930.753	24.5	102.1	118.4	277.6	151	2.0	0.0004	2)-③	OPCコンクリート 20℃封緘 8W 表乾	7.2	987.835	28.1	100.0	124.2	243.8	2005	24.6	0.0035	2)-④	OPCコンクリート 20℃封緘 8W 表乾	24.5	969.497	28.1	100.2	110.8	250.8	6065	68.1	0.0029	<p>表 2.1-19 照射試験測定結果(コンクリート配合による水素発生量への影響確認、コンクリート)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験No.</th> <th>試料概要</th> <th>吸収線量 kGy</th> <th>試料質量 g</th> <th>ガス取り出し時の温度 ℃</th> <th>大気圧 kPa</th> <th>測定系容器内圧力 kPa</th> <th>系統容積 ml</th> <th>水素濃度測定値 ppm</th> <th>水素発生量換算 μmol</th> <th>水素発生量 μmol/g/kGy¹⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2)-①</td> <td>OPCコンクリート 20℃封緘 4W 表乾</td> <td>5.6</td> <td>977.611</td> <td>24.9</td> <td>99.9</td> <td>118.9</td> <td>250.3</td> <td>1420</td> <td>17.3</td> <td>0.0032</td> </tr> <tr> <td>2)-②</td> <td>OPCコンクリート 20℃封緘 4W + 80℃ 1W乾燥</td> <td>5.6</td> <td>930.753</td> <td>24.5</td> <td>102.1</td> <td>118.4</td> <td>277.6</td> <td>151</td> <td>2.0</td> <td>0.0004</td> </tr> <tr> <td>2)-③</td> <td>OPCコンクリート 20℃封緘 8W 表乾</td> <td>7.2</td> <td>987.835</td> <td>28.1</td> <td>100.0</td> <td>124.2</td> <td>243.8</td> <td>2005</td> <td>24.6</td> <td>0.0035</td> </tr> <tr> <td>2)-④</td> <td>OPCコンクリート 20℃封緘 8W 表乾</td> <td>24.5</td> <td>969.497</td> <td>28.1</td> <td>100.2</td> <td>110.8</td> <td>250.8</td> <td>6065</td> <td>68.1</td> <td>0.0029</td> </tr> </tbody> </table> <p>1)単位に記されている kGy は、表中の吸収線量 (水換算) を示す。</p>	試験No.	試料概要	吸収線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度測定値 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量 μmol/g/kGy ¹⁾	2)-①	OPCコンクリート 20℃封緘 4W 表乾	5.6	977.611	24.9	99.9	118.9	250.3	1420	17.3	0.0032	2)-②	OPCコンクリート 20℃封緘 4W + 80℃ 1W乾燥	5.6	930.753	24.5	102.1	118.4	277.6	151	2.0	0.0004	2)-③	OPCコンクリート 20℃封緘 8W 表乾	7.2	987.835	28.1	100.0	124.2	243.8	2005	24.6	0.0035	2)-④	OPCコンクリート 20℃封緘 8W 表乾	24.5	969.497	28.1	100.2	110.8	250.8	6065	68.1	0.0029																																																																																																														
試験No.	試料概要	実照射線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度測定値 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量 μmol/g/kGy ¹⁾																																																																																																																																																																																																																						
2)-①	OPCコンクリート 20℃封緘 4W 表乾	5.6	977.611	24.9	99.9	118.9	250.3	1420	17.3	0.0032																																																																																																																																																																																																																						
2)-②	OPCコンクリート 20℃封緘 4W + 80℃ 1W乾燥	5.6	930.753	24.5	102.1	118.4	277.6	151	2.0	0.0004																																																																																																																																																																																																																						
2)-③	OPCコンクリート 20℃封緘 8W 表乾	7.2	987.835	28.1	100.0	124.2	243.8	2005	24.6	0.0035																																																																																																																																																																																																																						
2)-④	OPCコンクリート 20℃封緘 8W 表乾	24.5	969.497	28.1	100.2	110.8	250.8	6065	68.1	0.0029																																																																																																																																																																																																																						
試験No.	試料概要	吸収線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度測定値 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量 μmol/g/kGy ¹⁾																																																																																																																																																																																																																						
2)-①	OPCコンクリート 20℃封緘 4W 表乾	5.6	977.611	24.9	99.9	118.9	250.3	1420	17.3	0.0032																																																																																																																																																																																																																						
2)-②	OPCコンクリート 20℃封緘 4W + 80℃ 1W乾燥	5.6	930.753	24.5	102.1	118.4	277.6	151	2.0	0.0004																																																																																																																																																																																																																						
2)-③	OPCコンクリート 20℃封緘 8W 表乾	7.2	987.835	28.1	100.0	124.2	243.8	2005	24.6	0.0035																																																																																																																																																																																																																						
2)-④	OPCコンクリート 20℃封緘 8W 表乾	24.5	969.497	28.1	100.2	110.8	250.8	6065	68.1	0.0029																																																																																																																																																																																																																						
I-26	6～7行目	本文	実照射線量を変えた場合 、点数は限られるが、水素発生量 (μ mol/g/kGy) は線量によって変化せず、	吸収線量が異なる条件では 、点数は限られるが、水素発生量 (μ mol/g/kGy) は線量によって変化せず、																																																																																																																																																																																																																												
I-26	表 2.1-20	表	<p>表 2.1-20 照射試験測定結果 (コンクリート配合による水素発生量への影響確認、モルタル)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験No.</th> <th>試料概要</th> <th>実照射線量 kGy</th> <th>試料質量 g</th> <th>ガス取り出し時の温度 ℃</th> <th>大気圧 kPa</th> <th>測定系容器内圧力 kPa</th> <th>系統容積 ml</th> <th>水素濃度測定値 ppm</th> <th>水素発生量換算 μmol</th> <th>水素発生量 μmol/g/kGy¹⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2)-⑤</td> <td>OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾</td> <td>5.6</td> <td>40.819</td> <td>25.2</td> <td>99.6</td> <td>121.4</td> <td>132.1</td> <td>187</td> <td>1.2</td> <td>0.0054</td> </tr> <tr> <td>2)-⑥</td> <td>OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 50℃6h乾燥</td> <td>5.6</td> <td>40.808</td> <td>25.1</td> <td>99.5</td> <td>120.2</td> <td>134.7</td> <td>168</td> <td>1.1</td> <td>0.0049</td> </tr> <tr> <td>2)-⑦</td> <td>OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 80℃6h乾燥</td> <td>5.6</td> <td>40.835</td> <td>25.7</td> <td>101.2</td> <td>120.3</td> <td>131.6</td> <td>57</td> <td>0.4</td> <td>0.0016</td> </tr> <tr> <td>2)-⑧</td> <td>OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 80℃24h乾燥</td> <td>5.6</td> <td>40.438</td> <td>25.7</td> <td>101.3</td> <td>122.7</td> <td>137.8</td> <td>29</td> <td>0.2</td> <td>0.0009</td> </tr> <tr> <td>2)-⑨</td> <td>OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.60、S/C=3、 表乾</td> <td>5.6</td> <td>40.654</td> <td>24.9</td> <td>101.6</td> <td>118.2</td> <td>137.5</td> <td>235</td> <td>1.5</td> <td>0.0068</td> </tr> <tr> <td>2)-⑩</td> <td>OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾</td> <td>5.8</td> <td>40.805</td> <td>23.7</td> <td>102.0</td> <td>122.6</td> <td>131.9</td> <td>119</td> <td>0.8</td> <td>0.0033</td> </tr> <tr> <td>2)-⑪</td> <td>OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.60、S/C=3、 表乾</td> <td>5.8</td> <td>41.031</td> <td>23.8</td> <td>102.0</td> <td>121.0</td> <td>136.2</td> <td>163</td> <td>1.1</td> <td>0.0045</td> </tr> <tr> <td>2)-⑫</td> <td>FACモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾</td> <td>5.8</td> <td>41.080</td> <td>24.4</td> <td>101.0</td> <td>125.4</td> <td>131.1</td> <td>241</td> <td>1.6</td> <td>0.0067</td> </tr> <tr> <td>2)-⑬</td> <td>BFSCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾</td> <td>5.8</td> <td>41.850</td> <td>24.6</td> <td>101.0</td> <td>123.9</td> <td>134.6</td> <td>216</td> <td>1.5</td> <td>0.0060</td> </tr> </tbody> </table> <p>1)単位に記されている kGy は、表中の実照射線量 (水換算) を示す。</p>	試験No.	試料概要	実照射線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度測定値 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量 μmol/g/kGy ¹⁾	2)-⑤	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.6	40.819	25.2	99.6	121.4	132.1	187	1.2	0.0054	2)-⑥	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 50℃6h乾燥	5.6	40.808	25.1	99.5	120.2	134.7	168	1.1	0.0049	2)-⑦	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 80℃6h乾燥	5.6	40.835	25.7	101.2	120.3	131.6	57	0.4	0.0016	2)-⑧	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 80℃24h乾燥	5.6	40.438	25.7	101.3	122.7	137.8	29	0.2	0.0009	2)-⑨	OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.60、S/C=3、 表乾	5.6	40.654	24.9	101.6	118.2	137.5	235	1.5	0.0068	2)-⑩	OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.8	40.805	23.7	102.0	122.6	131.9	119	0.8	0.0033	2)-⑪	OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.60、S/C=3、 表乾	5.8	41.031	23.8	102.0	121.0	136.2	163	1.1	0.0045	2)-⑫	FACモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.8	41.080	24.4	101.0	125.4	131.1	241	1.6	0.0067	2)-⑬	BFSCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.8	41.850	24.6	101.0	123.9	134.6	216	1.5	0.0060	<p>表 2.1-20 照射試験測定結果 (コンクリート配合による水素発生量への影響確認、モルタル)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験No.</th> <th>試料概要</th> <th>吸収線量 kGy</th> <th>試料質量 g</th> <th>ガス取り出し時の温度 ℃</th> <th>大気圧 kPa</th> <th>測定系容器内圧力 kPa</th> <th>系統容積 ml</th> <th>水素濃度測定値 ppm</th> <th>水素発生量換算 μmol</th> <th>水素発生量 μmol/g/kGy¹⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2)-⑤</td> <td>OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾</td> <td>5.6</td> <td>40.819</td> <td>25.2</td> <td>99.6</td> <td>121.4</td> <td>132.1</td> <td>187</td> <td>1.2</td> <td>0.0054</td> </tr> <tr> <td>2)-⑥</td> <td>OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 50℃6h乾燥</td> <td>5.6</td> <td>40.808</td> <td>25.1</td> <td>99.5</td> <td>120.2</td> <td>134.7</td> <td>168</td> <td>1.1</td> <td>0.0049</td> </tr> <tr> <td>2)-⑦</td> <td>OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 80℃6h乾燥</td> <td>5.6</td> <td>40.835</td> <td>25.7</td> <td>101.2</td> <td>120.3</td> <td>131.6</td> <td>57</td> <td>0.4</td> <td>0.0016</td> </tr> <tr> <td>2)-⑧</td> <td>OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 80℃24h乾燥</td> <td>5.6</td> <td>40.438</td> <td>25.7</td> <td>101.3</td> <td>122.7</td> <td>137.8</td> <td>29</td> <td>0.2</td> <td>0.0009</td> </tr> <tr> <td>2)-⑨</td> <td>OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.60、S/C=3、 表乾</td> <td>5.6</td> <td>40.654</td> <td>24.9</td> <td>101.6</td> <td>118.2</td> <td>137.5</td> <td>235</td> <td>1.5</td> <td>0.0068</td> </tr> <tr> <td>2)-⑩</td> <td>OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾</td> <td>5.8</td> <td>40.805</td> <td>23.7</td> <td>102.0</td> <td>122.6</td> <td>131.9</td> <td>119</td> <td>0.8</td> <td>0.0033</td> </tr> <tr> <td>2)-⑪</td> <td>OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.60、S/C=3、 表乾</td> <td>5.8</td> <td>41.031</td> <td>23.8</td> <td>102.0</td> <td>121.0</td> <td>136.2</td> <td>163</td> <td>1.1</td> <td>0.0045</td> </tr> <tr> <td>2)-⑫</td> <td>FACモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾</td> <td>5.8</td> <td>41.080</td> <td>24.4</td> <td>101.0</td> <td>125.4</td> <td>131.1</td> <td>241</td> <td>1.6</td> <td>0.0067</td> </tr> <tr> <td>2)-⑬</td> <td>BFSCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾</td> <td>5.8</td> <td>41.850</td> <td>24.6</td> <td>101.0</td> <td>123.9</td> <td>134.6</td> <td>216</td> <td>1.5</td> <td>0.0060</td> </tr> </tbody> </table> <p>1)単位に記されている kGy は、表中の吸収線量 (水換算) を示す。</p>	試験No.	試料概要	吸収線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度測定値 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量 μmol/g/kGy ¹⁾	2)-⑤	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.6	40.819	25.2	99.6	121.4	132.1	187	1.2	0.0054	2)-⑥	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 50℃6h乾燥	5.6	40.808	25.1	99.5	120.2	134.7	168	1.1	0.0049	2)-⑦	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 80℃6h乾燥	5.6	40.835	25.7	101.2	120.3	131.6	57	0.4	0.0016	2)-⑧	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 80℃24h乾燥	5.6	40.438	25.7	101.3	122.7	137.8	29	0.2	0.0009	2)-⑨	OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.60、S/C=3、 表乾	5.6	40.654	24.9	101.6	118.2	137.5	235	1.5	0.0068	2)-⑩	OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.8	40.805	23.7	102.0	122.6	131.9	119	0.8	0.0033	2)-⑪	OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.60、S/C=3、 表乾	5.8	41.031	23.8	102.0	121.0	136.2	163	1.1	0.0045	2)-⑫	FACモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.8	41.080	24.4	101.0	125.4	131.1	241	1.6	0.0067	2)-⑬	BFSCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.8	41.850	24.6	101.0	123.9	134.6	216	1.5	0.0060
試験No.	試料概要	実照射線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度測定値 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量 μmol/g/kGy ¹⁾																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑤	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.6	40.819	25.2	99.6	121.4	132.1	187	1.2	0.0054																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑥	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 50℃6h乾燥	5.6	40.808	25.1	99.5	120.2	134.7	168	1.1	0.0049																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑦	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 80℃6h乾燥	5.6	40.835	25.7	101.2	120.3	131.6	57	0.4	0.0016																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑧	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 80℃24h乾燥	5.6	40.438	25.7	101.3	122.7	137.8	29	0.2	0.0009																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑨	OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.60、S/C=3、 表乾	5.6	40.654	24.9	101.6	118.2	137.5	235	1.5	0.0068																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑩	OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.8	40.805	23.7	102.0	122.6	131.9	119	0.8	0.0033																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑪	OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.60、S/C=3、 表乾	5.8	41.031	23.8	102.0	121.0	136.2	163	1.1	0.0045																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑫	FACモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.8	41.080	24.4	101.0	125.4	131.1	241	1.6	0.0067																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑬	BFSCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.8	41.850	24.6	101.0	123.9	134.6	216	1.5	0.0060																																																																																																																																																																																																																						
試験No.	試料概要	吸収線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度測定値 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量 μmol/g/kGy ¹⁾																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑤	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.6	40.819	25.2	99.6	121.4	132.1	187	1.2	0.0054																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑥	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 50℃6h乾燥	5.6	40.808	25.1	99.5	120.2	134.7	168	1.1	0.0049																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑦	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 80℃6h乾燥	5.6	40.835	25.7	101.2	120.3	131.6	57	0.4	0.0016																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑧	OPCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 80℃24h乾燥	5.6	40.438	25.7	101.3	122.7	137.8	29	0.2	0.0009																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑨	OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.60、S/C=3、 表乾	5.6	40.654	24.9	101.6	118.2	137.5	235	1.5	0.0068																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑩	OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.8	40.805	23.7	102.0	122.6	131.9	119	0.8	0.0033																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑪	OPCモルタル、珪砂、 W/C=0.60、S/C=3、 表乾	5.8	41.031	23.8	102.0	121.0	136.2	163	1.1	0.0045																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑫	FACモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.8	41.080	24.4	101.0	125.4	131.1	241	1.6	0.0067																																																																																																																																																																																																																						
2)-⑬	BFSCモルタル、砕砂、 W/C=0.45、S/C=2、 表乾	5.8	41.850	24.6	101.0	123.9	134.6	216	1.5	0.0060																																																																																																																																																																																																																						

ページ	場所	種類	誤	正																																																																																																																																		
I-29	表 2.1-21	表	<p>表 2.1-21 照射試験測定結果（温度による水素発生量の差異の確認）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験No.</th> <th>照射時の設定温度 ℃</th> <th>試料温度¹⁾ ℃</th> <th>試料近傍温度¹⁾ ℃</th> <th>実照射線量 kGy</th> <th>試料質量 g</th> <th>ガス取り出し時の温度 ℃</th> <th>大気圧 kPa</th> <th>測定系容器内圧力 kPa</th> <th>系統容積 ml</th> <th>水素濃度 ppm</th> <th>水素発生量換算 μmol</th> <th>水素発生量 μmol/g/kGy²⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2)-⑤</td> <td>室温</td> <td>24.3-26.9 (26.0-26.9)</td> <td>25.1-26.5 (25.7-26.5)</td> <td>5.6</td> <td>40.819</td> <td>25.2</td> <td>99.6</td> <td>121.4</td> <td>132.1</td> <td>187</td> <td>1.2</td> <td>0.0054</td> </tr> <tr> <td>3)-①³⁾</td> <td>80℃</td> <td>80.4-82.3 (80.9-82.0)</td> <td>78.6-80.0 (79.1-80.0)</td> <td>4.9</td> <td>40.816</td> <td>24.6</td> <td>101.5</td> <td>120.6</td> <td>130.7</td> <td>251</td> <td>1.6</td> <td>0.0080</td> </tr> <tr> <td>2)-⑤-再⁴⁾</td> <td>室温</td> <td>-</td> <td>24.0-25.6 (25.0-25.6)</td> <td>5.8</td> <td>11.312</td> <td>22.7</td> <td>101.7</td> <td>122.2</td> <td>145.6</td> <td>53</td> <td>0.38</td> <td>0.0058</td> </tr> <tr> <td>3)-①-再⁴⁾</td> <td>80℃</td> <td>-</td> <td>78.6-80.0 (79.7-80.0)</td> <td>5.3</td> <td>11.338</td> <td>22.8</td> <td>101.7</td> <td>126.2</td> <td>149.7</td> <td>72</td> <td>0.55</td> <td>0.0092</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 上段照射時間5時間を通じた温度範囲、下段カプセル照射開始から50分経過後、温度が安定してからこの温度範囲 2) 単位に記されている kGy は、表中の実照射線量（水換算）を示す。 3) 試料容器に割れが認められ、ガスが漏れた可能性があるため参考値として示す。 4) 材齢 6w の時点で再測定を実施した。</p>	試験No.	照射時の設定温度 ℃	試料温度 ¹⁾ ℃	試料近傍温度 ¹⁾ ℃	実照射線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量 μmol/g/kGy ²⁾	2)-⑤	室温	24.3-26.9 (26.0-26.9)	25.1-26.5 (25.7-26.5)	5.6	40.819	25.2	99.6	121.4	132.1	187	1.2	0.0054	3)-① ³⁾	80℃	80.4-82.3 (80.9-82.0)	78.6-80.0 (79.1-80.0)	4.9	40.816	24.6	101.5	120.6	130.7	251	1.6	0.0080	2)-⑤-再 ⁴⁾	室温	-	24.0-25.6 (25.0-25.6)	5.8	11.312	22.7	101.7	122.2	145.6	53	0.38	0.0058	3)-①-再 ⁴⁾	80℃	-	78.6-80.0 (79.7-80.0)	5.3	11.338	22.8	101.7	126.2	149.7	72	0.55	0.0092	<p>表 2.1-21 照射試験測定結果（温度による水素発生量の差異の確認）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験No.</th> <th>照射時の設定温度 ℃</th> <th>試料温度¹⁾ ℃</th> <th>試料近傍温度¹⁾ ℃</th> <th>吸収線量 kGy</th> <th>試料質量 g</th> <th>ガス取り出し時の温度 ℃</th> <th>大気圧 kPa</th> <th>測定系容器内圧力 kPa</th> <th>系統容積 ml</th> <th>水素濃度 ppm</th> <th>水素発生量換算 μmol</th> <th>水素発生量 μmol/g/kGy²⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2)-⑤</td> <td>室温</td> <td>24.3-26.9 (26.0-26.9)</td> <td>25.1-26.5 (25.7-26.5)</td> <td>5.6</td> <td>40.819</td> <td>25.2</td> <td>99.6</td> <td>121.4</td> <td>132.1</td> <td>187</td> <td>1.2</td> <td>0.0054</td> </tr> <tr> <td>3)-①³⁾</td> <td>80℃</td> <td>80.4-82.3 (80.9-82.0)</td> <td>78.6-80.0 (79.1-80.0)</td> <td>4.9</td> <td>40.816</td> <td>24.6</td> <td>101.5</td> <td>120.6</td> <td>130.7</td> <td>251</td> <td>1.6</td> <td>0.0080</td> </tr> <tr> <td>2)-⑤-再⁴⁾</td> <td>室温</td> <td>-</td> <td>24.0-25.6 (25.0-25.6)</td> <td>5.8</td> <td>11.312</td> <td>22.7</td> <td>101.7</td> <td>122.2</td> <td>145.6</td> <td>53</td> <td>0.38</td> <td>0.0058</td> </tr> <tr> <td>3)-①-再⁴⁾</td> <td>80℃</td> <td>-</td> <td>78.6-80.0 (79.7-80.0)</td> <td>5.3</td> <td>11.338</td> <td>22.8</td> <td>101.7</td> <td>126.2</td> <td>149.7</td> <td>72</td> <td>0.55</td> <td>0.0092</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 上段照射時間5時間を通じた温度範囲、下段カプセル照射開始から50分経過後、温度が安定してからこの温度範囲 2) 単位に記されている kGy は、表中の吸収線量（水換算）を示す。 3) 試料容器に割れが認められ、ガスが漏れた可能性があるため参考値として示す。 4) 材齢 6w の時点で再測定を実施した。</p>	試験No.	照射時の設定温度 ℃	試料温度 ¹⁾ ℃	試料近傍温度 ¹⁾ ℃	吸収線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量 μmol/g/kGy ²⁾	2)-⑤	室温	24.3-26.9 (26.0-26.9)	25.1-26.5 (25.7-26.5)	5.6	40.819	25.2	99.6	121.4	132.1	187	1.2	0.0054	3)-① ³⁾	80℃	80.4-82.3 (80.9-82.0)	78.6-80.0 (79.1-80.0)	4.9	40.816	24.6	101.5	120.6	130.7	251	1.6	0.0080	2)-⑤-再 ⁴⁾	室温	-	24.0-25.6 (25.0-25.6)	5.8	11.312	22.7	101.7	122.2	145.6	53	0.38	0.0058	3)-①-再 ⁴⁾	80℃	-	78.6-80.0 (79.7-80.0)	5.3	11.338	22.8	101.7	126.2	149.7	72	0.55	0.0092
試験No.	照射時の設定温度 ℃	試料温度 ¹⁾ ℃	試料近傍温度 ¹⁾ ℃	実照射線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量 μmol/g/kGy ²⁾																																																																																																																										
2)-⑤	室温	24.3-26.9 (26.0-26.9)	25.1-26.5 (25.7-26.5)	5.6	40.819	25.2	99.6	121.4	132.1	187	1.2	0.0054																																																																																																																										
3)-① ³⁾	80℃	80.4-82.3 (80.9-82.0)	78.6-80.0 (79.1-80.0)	4.9	40.816	24.6	101.5	120.6	130.7	251	1.6	0.0080																																																																																																																										
2)-⑤-再 ⁴⁾	室温	-	24.0-25.6 (25.0-25.6)	5.8	11.312	22.7	101.7	122.2	145.6	53	0.38	0.0058																																																																																																																										
3)-①-再 ⁴⁾	80℃	-	78.6-80.0 (79.7-80.0)	5.3	11.338	22.8	101.7	126.2	149.7	72	0.55	0.0092																																																																																																																										
試験No.	照射時の設定温度 ℃	試料温度 ¹⁾ ℃	試料近傍温度 ¹⁾ ℃	吸収線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量 μmol/g/kGy ²⁾																																																																																																																										
2)-⑤	室温	24.3-26.9 (26.0-26.9)	25.1-26.5 (25.7-26.5)	5.6	40.819	25.2	99.6	121.4	132.1	187	1.2	0.0054																																																																																																																										
3)-① ³⁾	80℃	80.4-82.3 (80.9-82.0)	78.6-80.0 (79.1-80.0)	4.9	40.816	24.6	101.5	120.6	130.7	251	1.6	0.0080																																																																																																																										
2)-⑤-再 ⁴⁾	室温	-	24.0-25.6 (25.0-25.6)	5.8	11.312	22.7	101.7	122.2	145.6	53	0.38	0.0058																																																																																																																										
3)-①-再 ⁴⁾	80℃	-	78.6-80.0 (79.7-80.0)	5.3	11.338	22.8	101.7	126.2	149.7	72	0.55	0.0092																																																																																																																										
I-32	20～21 行目 32～33 行目 36～37 行目	本文 本文 本文	<p>G_{H2}(All)の算出に使用する試料に対する吸収線量は、今回実施した試験における水換算の照射線量から算出した。</p> <p>例えば、OPC モルタル試料 2)-⑤の場合、照射線量（水換算）は 5600Gy、$(\Sigma Z/\Sigma A)_s=51.97 / 102.71$であった。</p> <p>一方、G_{H2}(fW)の算出に使用する自由水に対する吸収線量は、試料中の水が純粋にγ線を受けたと想定して、水換算の照射線量を使用した。</p>	<p>G_{H2}(All)の算出に使用する試料に対する吸収線量は、今回実施した試験における水換算の吸収線量から算出した。</p> <p>例えば、OPC モルタル試料 2)-⑤の場合、吸収線量（水換算）は 5600Gy、$(\Sigma Z/\Sigma A)_s=51.97 / 102.71$であった。</p> <p>一方、G_{H2}(fW)の算出に使用する自由水に対する吸収線量は、試料中の水が純粋にγ線を受けたと想定して、水換算の吸収線量を使用した。</p>																																																																																																																																		
I-33	10 行目	本文	R : 照射線量 （水換算）	R : 吸収線量 （水換算）																																																																																																																																		
I-39	22 行目	本文	照射線量率 は、1kGy/h とした。	吸収線量率 は、1kGy/h とした。																																																																																																																																		
I-42	表 2.1-29	表	<p>表 2.1-29 照射時間と水素発生量との関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験No.</th> <th rowspan="2">照射時間 h</th> <th rowspan="2">実照射線量 kGy</th> <th rowspan="2">試料質量 g</th> <th rowspan="2">ガス取り出し時の温度 ℃</th> <th rowspan="2">大気圧 kPa</th> <th rowspan="2">測定系容器内圧力 kPa</th> <th rowspan="2">系統容積 ml</th> <th rowspan="2">水素濃度測定値 ppm</th> <th rowspan="2">水素発生量換算 μmol</th> <th colspan="2">水素発生量</th> </tr> <tr> <th>μmol/g</th> <th>μmol/g/kGy¹⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4)-①</td> <td>2</td> <td>2.1</td> <td>653.235</td> <td>23.9</td> <td>102.0</td> <td>124.7</td> <td>310.5</td> <td>41204</td> <td>641.8</td> <td>0.983</td> <td>0.4679</td> </tr> <tr> <td>4)-②</td> <td>4</td> <td>4.3</td> <td>651.100</td> <td>24.5</td> <td>102.1</td> <td>121.9</td> <td>313.2</td> <td>33764</td> <td>517.2</td> <td>0.794</td> <td>0.1847</td> </tr> <tr> <td>4)-③</td> <td>17</td> <td>16.2</td> <td>65.475</td> <td>27.3</td> <td>100.5</td> <td>128.2</td> <td>590.5</td> <td>2525</td> <td>77.2</td> <td>1.18</td> <td>0.0727</td> </tr> <tr> <td>4)-④</td> <td>24</td> <td>22.9</td> <td>66.115</td> <td>27.9</td> <td>100.5</td> <td>126.0</td> <td>602.9</td> <td>3446</td> <td>105.6</td> <td>1.60</td> <td>0.0697</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 単位に記されている kGy は、表中の実照射線量（水換算）を示す。</p>	試験No.	照射時間 h	実照射線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度測定値 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量		μmol/g	μmol/g/kGy ¹⁾	4)-①	2	2.1	653.235	23.9	102.0	124.7	310.5	41204	641.8	0.983	0.4679	4)-②	4	4.3	651.100	24.5	102.1	121.9	313.2	33764	517.2	0.794	0.1847	4)-③	17	16.2	65.475	27.3	100.5	128.2	590.5	2525	77.2	1.18	0.0727	4)-④	24	22.9	66.115	27.9	100.5	126.0	602.9	3446	105.6	1.60	0.0697	<p>表 2.1-29 照射時間と水素発生量との関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験No.</th> <th rowspan="2">照射時間 h</th> <th rowspan="2">吸収線量 kGy</th> <th rowspan="2">試料質量 g</th> <th rowspan="2">ガス取り出し時の温度 ℃</th> <th rowspan="2">大気圧 kPa</th> <th rowspan="2">測定系容器内圧力 kPa</th> <th rowspan="2">系統容積 ml</th> <th rowspan="2">水素濃度測定値 ppm</th> <th rowspan="2">水素発生量換算 μmol</th> <th colspan="2">水素発生量</th> </tr> <tr> <th>μmol/g</th> <th>μmol/g/kGy¹⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4)-①</td> <td>2</td> <td>2.1</td> <td>653.235</td> <td>23.9</td> <td>102.0</td> <td>124.7</td> <td>310.5</td> <td>41204</td> <td>641.8</td> <td>0.983</td> <td>0.4679</td> </tr> <tr> <td>4)-②</td> <td>4</td> <td>4.3</td> <td>651.100</td> <td>24.5</td> <td>102.1</td> <td>121.9</td> <td>313.2</td> <td>33764</td> <td>517.2</td> <td>0.794</td> <td>0.1847</td> </tr> <tr> <td>4)-③</td> <td>17</td> <td>16.2</td> <td>65.475</td> <td>27.3</td> <td>100.5</td> <td>128.2</td> <td>590.5</td> <td>2525</td> <td>77.2</td> <td>1.18</td> <td>0.0727</td> </tr> <tr> <td>4)-④</td> <td>24</td> <td>22.9</td> <td>66.115</td> <td>27.9</td> <td>100.5</td> <td>126.0</td> <td>602.9</td> <td>3446</td> <td>105.6</td> <td>1.60</td> <td>0.0697</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 単位に記されている kGy は、表中の吸収線量（水換算）を示す。</p>	試験No.	照射時間 h	吸収線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度測定値 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量		μmol/g	μmol/g/kGy ¹⁾	4)-①	2	2.1	653.235	23.9	102.0	124.7	310.5	41204	641.8	0.983	0.4679	4)-②	4	4.3	651.100	24.5	102.1	121.9	313.2	33764	517.2	0.794	0.1847	4)-③	17	16.2	65.475	27.3	100.5	128.2	590.5	2525	77.2	1.18	0.0727	4)-④	24	22.9	66.115	27.9	100.5	126.0	602.9	3446	105.6	1.60	0.0697						
試験No.	照射時間 h	実照射線量 kGy	試料質量 g											ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度測定値 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量																																																																																																																		
				μmol/g	μmol/g/kGy ¹⁾																																																																																																																																	
4)-①	2	2.1	653.235	23.9	102.0	124.7	310.5	41204	641.8	0.983	0.4679																																																																																																																											
4)-②	4	4.3	651.100	24.5	102.1	121.9	313.2	33764	517.2	0.794	0.1847																																																																																																																											
4)-③	17	16.2	65.475	27.3	100.5	128.2	590.5	2525	77.2	1.18	0.0727																																																																																																																											
4)-④	24	22.9	66.115	27.9	100.5	126.0	602.9	3446	105.6	1.60	0.0697																																																																																																																											
試験No.	照射時間 h	吸収線量 kGy	試料質量 g	ガス取り出し時の温度 ℃	大気圧 kPa	測定系容器内圧力 kPa	系統容積 ml	水素濃度測定値 ppm	水素発生量換算 μmol	水素発生量																																																																																																																												
										μmol/g	μmol/g/kGy ¹⁾																																																																																																																											
4)-①	2	2.1	653.235	23.9	102.0	124.7	310.5	41204	641.8	0.983	0.4679																																																																																																																											
4)-②	4	4.3	651.100	24.5	102.1	121.9	313.2	33764	517.2	0.794	0.1847																																																																																																																											
4)-③	17	16.2	65.475	27.3	100.5	128.2	590.5	2525	77.2	1.18	0.0727																																																																																																																											
4)-④	24	22.9	66.115	27.9	100.5	126.0	602.9	3446	105.6	1.60	0.0697																																																																																																																											

ページ	場所	種類	誤	正																																																																																																																
I-45	11行目	本文	高照射線量率条件下での圧力測定を実施した。	高線量率条件下での圧力測定を実施した。																																																																																																																
I-49	2～4行目	本文	なお、本節の以下の図表においては、特に注記が無い限り 実照射線量 は 試験料に照射された照射線量の水換算値 を示す。	なお、本節の以下の図表においては、特に注記が無い限り 吸収線量 は 水換算の吸収線量 を示す。																																																																																																																
I-49	表 2.1-31	表	<p style="text-align: center;">表 2.1-31 冷却前後の照射後圧力の比較</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">照射条件</th> <th colspan="2">照射終了直後</th> <th colspan="3">照射後、冷却後</th> </tr> <tr> <th>実照射線量 (kGy)</th> <th>照射線量率 (kGy/h)</th> <th>試験系の内圧 (測定値) (kPa)</th> <th>温度 (°C)</th> <th>試験系の内圧 (測定値) (kPa)</th> <th>試験系の内圧 (計算値) (kPa)^{注)}</th> <th>温度 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>242</td> <td>3.4</td> <td>196.1</td> <td>29.3</td> <td>153.0</td> <td>161.9</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>333</td> <td>3.6</td> <td>231.1</td> <td>29.8</td> <td>182.3</td> <td>185.1</td> <td>6.4</td> </tr> </tbody> </table>	照射条件		照射終了直後		照射後、冷却後			実照射線量 (kGy)	照射線量率 (kGy/h)	試験系の内圧 (測定値) (kPa)	温度 (°C)	試験系の内圧 (測定値) (kPa)	試験系の内圧 (計算値) (kPa) ^{注)}	温度 (°C)	242	3.4	196.1	29.3	153.0	161.9	5.8	333	3.6	231.1	29.8	182.3	185.1	6.4	<p style="text-align: center;">表 2.1-31 冷却前後の照射後圧力の比較</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">照射条件</th> <th colspan="2">照射終了直後</th> <th colspan="3">照射後、冷却後</th> </tr> <tr> <th>吸収線量 (kGy)</th> <th>吸収線量率 (kGy/h)</th> <th>試験系の内圧 (測定値) (kPa)</th> <th>温度 (°C)</th> <th>試験系の内圧 (測定値) (kPa)</th> <th>試験系の内圧 (計算値) (kPa)^{注)}</th> <th>温度 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>242</td> <td>3.4</td> <td>196.1</td> <td>29.3</td> <td>153.0</td> <td>161.9</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>333</td> <td>3.6</td> <td>231.1</td> <td>29.8</td> <td>182.3</td> <td>185.1</td> <td>6.4</td> </tr> </tbody> </table>	照射条件		照射終了直後		照射後、冷却後			吸収線量 (kGy)	吸収線量率 (kGy/h)	試験系の内圧 (測定値) (kPa)	温度 (°C)	試験系の内圧 (測定値) (kPa)	試験系の内圧 (計算値) (kPa) ^{注)}	温度 (°C)	242	3.4	196.1	29.3	153.0	161.9	5.8	333	3.6	231.1	29.8	182.3	185.1	6.4																																																								
照射条件		照射終了直後		照射後、冷却後																																																																																																																
実照射線量 (kGy)	照射線量率 (kGy/h)	試験系の内圧 (測定値) (kPa)	温度 (°C)	試験系の内圧 (測定値) (kPa)	試験系の内圧 (計算値) (kPa) ^{注)}	温度 (°C)																																																																																																														
242	3.4	196.1	29.3	153.0	161.9	5.8																																																																																																														
333	3.6	231.1	29.8	182.3	185.1	6.4																																																																																																														
照射条件		照射終了直後		照射後、冷却後																																																																																																																
吸収線量 (kGy)	吸収線量率 (kGy/h)	試験系の内圧 (測定値) (kPa)	温度 (°C)	試験系の内圧 (測定値) (kPa)	試験系の内圧 (計算値) (kPa) ^{注)}	温度 (°C)																																																																																																														
242	3.4	196.1	29.3	153.0	161.9	5.8																																																																																																														
333	3.6	231.1	29.8	182.3	185.1	6.4																																																																																																														
I-51	1行目 2行目 5行目	項タイトル 本文 本文	<p>(C) 線量率を変えた試験料における圧力上昇</p> <p>線量を変えトータルの照射線量を変えた試験料について、圧力上昇値を検討した。</p> <p>また、圧力上昇値と実照射線量の関係を図 2.1-43 に示す。</p>	<p>(C) 吸収線量率が異なる試験料における圧力上昇</p> <p>吸収線量率が異なる条件でトータルの吸収線量を変えた試験料について、圧力上昇値を検討した。</p> <p>また、圧力上昇値と吸収線量の関係を図 2.1-43 に示す。</p>																																																																																																																
I-51	表 2.1-32	表	<p>表 2.1-32 圧力測定検討試験における圧力変化（常時測定試験料は除く）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">照射条件</th> <th colspan="2">照射前</th> <th colspan="3">照射後</th> <th>圧力上昇値</th> </tr> <tr> <th>実照射線量 (kGy)</th> <th>照射線量率 (kGy/h)</th> <th>容器内圧 (kPa)</th> <th>温度 (°C)</th> <th>試験系の内圧 (測定値) (kPa)</th> <th>容器内圧 換算値 (kPa)^{注)}</th> <th>温度 (°C)</th> <th>容器内圧 (kPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>81</td> <td>1.1</td> <td>107.3</td> <td>6.2</td> <td>132.7</td> <td>142.7</td> <td>6.6</td> <td>35.4</td> </tr> <tr> <td>161</td> <td>2.3</td> <td>107.3</td> <td>6.3</td> <td>154.1</td> <td>170.8</td> <td>6.5</td> <td>63.5</td> </tr> <tr> <td>242</td> <td>3.4</td> <td>107.1</td> <td>6.3</td> <td>180.2</td> <td>204.9</td> <td>6.5</td> <td>97.8</td> </tr> <tr> <td>315</td> <td>3.4</td> <td>108.2</td> <td>6.0</td> <td>202.5</td> <td>234.0</td> <td>8.2</td> <td>125.8</td> </tr> <tr> <td>398</td> <td>4.3</td> <td>108.4</td> <td>6.0</td> <td>230.6</td> <td>271.1</td> <td>7.2</td> <td>162.7</td> </tr> </tbody> </table>	照射条件		照射前		照射後			圧力上昇値	実照射線量 (kGy)	照射線量率 (kGy/h)	容器内圧 (kPa)	温度 (°C)	試験系の内圧 (測定値) (kPa)	容器内圧 換算値 (kPa) ^{注)}	温度 (°C)	容器内圧 (kPa)	81	1.1	107.3	6.2	132.7	142.7	6.6	35.4	161	2.3	107.3	6.3	154.1	170.8	6.5	63.5	242	3.4	107.1	6.3	180.2	204.9	6.5	97.8	315	3.4	108.2	6.0	202.5	234.0	8.2	125.8	398	4.3	108.4	6.0	230.6	271.1	7.2	162.7	<p>表 2.1-32 圧力測定検討試験における圧力変化（常時測定試験料は除く）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">照射条件</th> <th colspan="2">照射前</th> <th colspan="3">照射後</th> <th>圧力上昇値</th> </tr> <tr> <th>吸収線量 (kGy)</th> <th>吸収線量率 (kGy/h)</th> <th>容器内圧 (kPa)</th> <th>温度 (°C)</th> <th>試験系の内圧 (測定値) (kPa)</th> <th>容器内圧 換算値 (kPa)^{注)}</th> <th>温度 (°C)</th> <th>容器内圧 (kPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>81</td> <td>1.1</td> <td>107.3</td> <td>6.2</td> <td>132.7</td> <td>142.7</td> <td>6.6</td> <td>35.4</td> </tr> <tr> <td>161</td> <td>2.3</td> <td>107.3</td> <td>6.3</td> <td>154.1</td> <td>170.8</td> <td>6.5</td> <td>63.5</td> </tr> <tr> <td>242</td> <td>3.4</td> <td>107.1</td> <td>6.3</td> <td>180.2</td> <td>204.9</td> <td>6.5</td> <td>97.8</td> </tr> <tr> <td>315</td> <td>3.4</td> <td>108.2</td> <td>6.0</td> <td>202.5</td> <td>234.0</td> <td>8.2</td> <td>125.8</td> </tr> <tr> <td>398</td> <td>4.3</td> <td>108.4</td> <td>6.0</td> <td>230.6</td> <td>271.1</td> <td>7.2</td> <td>162.7</td> </tr> </tbody> </table>	照射条件		照射前		照射後			圧力上昇値	吸収線量 (kGy)	吸収線量率 (kGy/h)	容器内圧 (kPa)	温度 (°C)	試験系の内圧 (測定値) (kPa)	容器内圧 換算値 (kPa) ^{注)}	温度 (°C)	容器内圧 (kPa)	81	1.1	107.3	6.2	132.7	142.7	6.6	35.4	161	2.3	107.3	6.3	154.1	170.8	6.5	63.5	242	3.4	107.1	6.3	180.2	204.9	6.5	97.8	315	3.4	108.2	6.0	202.5	234.0	8.2	125.8	398	4.3	108.4	6.0	230.6	271.1	7.2	162.7
照射条件		照射前		照射後			圧力上昇値																																																																																																													
実照射線量 (kGy)	照射線量率 (kGy/h)	容器内圧 (kPa)	温度 (°C)	試験系の内圧 (測定値) (kPa)	容器内圧 換算値 (kPa) ^{注)}	温度 (°C)	容器内圧 (kPa)																																																																																																													
81	1.1	107.3	6.2	132.7	142.7	6.6	35.4																																																																																																													
161	2.3	107.3	6.3	154.1	170.8	6.5	63.5																																																																																																													
242	3.4	107.1	6.3	180.2	204.9	6.5	97.8																																																																																																													
315	3.4	108.2	6.0	202.5	234.0	8.2	125.8																																																																																																													
398	4.3	108.4	6.0	230.6	271.1	7.2	162.7																																																																																																													
照射条件		照射前		照射後			圧力上昇値																																																																																																													
吸収線量 (kGy)	吸収線量率 (kGy/h)	容器内圧 (kPa)	温度 (°C)	試験系の内圧 (測定値) (kPa)	容器内圧 換算値 (kPa) ^{注)}	温度 (°C)	容器内圧 (kPa)																																																																																																													
81	1.1	107.3	6.2	132.7	142.7	6.6	35.4																																																																																																													
161	2.3	107.3	6.3	154.1	170.8	6.5	63.5																																																																																																													
242	3.4	107.1	6.3	180.2	204.9	6.5	97.8																																																																																																													
315	3.4	108.2	6.0	202.5	234.0	8.2	125.8																																																																																																													
398	4.3	108.4	6.0	230.6	271.1	7.2	162.7																																																																																																													

ページ	場所	種類	誤	正																																																																																																
I-52	1行目 6行目	本文 本文	圧力上昇値と 実照射線量 の関係から、以下の知見が得られた。 圧力上昇値が 実照射線量 に比例していた。	圧力上昇値と 吸収線量 の関係から、以下の知見が得られた。 圧力上昇値が 吸収線量 に比例していた。																																																																																																
I-52	図 2.1-43	図	<p>図 2.1-43 実照射線量と容器内圧力の上昇との関係</p> <p>圧力値を圧力容器の容積に対する値（容器内圧）に補正して導出</p>	<p>図 2.1-43 吸収線量と容器内圧力の上昇との関係</p> <p>圧力値を圧力容器の容積に対する値（容器内圧）に補正して導出</p>																																																																																																
I-52	表 2.1-33	表	<p>表 2.1-33 ガス濃度の測定結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実照射線量 (kGy)</th> <th>容器内圧の 上昇値 (kPa)</th> <th>H₂ (%)</th> <th>N₂ (%)</th> <th>O₂ (%)</th> <th>CO₂ (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>398</td> <td>162.7</td> <td>121</td> <td>7</td> <td>1.5</td> <td><0.02</td> </tr> <tr> <td>333</td> <td>-</td> <td>82</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>315</td> <td>125.8</td> <td>62</td> <td>6</td> <td><0.2</td> <td><0.02</td> </tr> <tr> <td>242</td> <td>97.8</td> <td>66</td> <td>11</td> <td><0.1</td> <td><0.02</td> </tr> <tr> <td>242</td> <td>-</td> <td>56</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>161</td> <td>63.5</td> <td>42</td> <td>8</td> <td><0.1</td> <td><0.01</td> </tr> <tr> <td>81</td> <td>35.4</td> <td>30</td> <td>11</td> <td><0.1</td> <td><0.01</td> </tr> </tbody> </table>	実照射線量 (kGy)	容器内圧の 上昇値 (kPa)	H ₂ (%)	N ₂ (%)	O ₂ (%)	CO ₂ (%)	398	162.7	121	7	1.5	<0.02	333	-	82	-	-	-	315	125.8	62	6	<0.2	<0.02	242	97.8	66	11	<0.1	<0.02	242	-	56	-	-	-	161	63.5	42	8	<0.1	<0.01	81	35.4	30	11	<0.1	<0.01	<p>表 2.1-33 ガス濃度の測定結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>吸収線量 (kGy)</th> <th>容器内圧の 上昇値 (kPa)</th> <th>H₂ (%)</th> <th>N₂ (%)</th> <th>O₂ (%)</th> <th>CO₂ (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>398</td> <td>162.7</td> <td>121</td> <td>7</td> <td>1.5</td> <td><0.02</td> </tr> <tr> <td>333</td> <td>-</td> <td>82</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>315</td> <td>125.8</td> <td>62</td> <td>6</td> <td><0.2</td> <td><0.02</td> </tr> <tr> <td>242</td> <td>97.8</td> <td>66</td> <td>11</td> <td><0.1</td> <td><0.02</td> </tr> <tr> <td>242</td> <td>-</td> <td>56</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>161</td> <td>63.5</td> <td>42</td> <td>8</td> <td><0.1</td> <td><0.01</td> </tr> <tr> <td>81</td> <td>35.4</td> <td>30</td> <td>11</td> <td><0.1</td> <td><0.01</td> </tr> </tbody> </table>	吸収線量 (kGy)	容器内圧の 上昇値 (kPa)	H ₂ (%)	N ₂ (%)	O ₂ (%)	CO ₂ (%)	398	162.7	121	7	1.5	<0.02	333	-	82	-	-	-	315	125.8	62	6	<0.2	<0.02	242	97.8	66	11	<0.1	<0.02	242	-	56	-	-	-	161	63.5	42	8	<0.1	<0.01	81	35.4	30	11	<0.1	<0.01
実照射線量 (kGy)	容器内圧の 上昇値 (kPa)	H ₂ (%)	N ₂ (%)	O ₂ (%)	CO ₂ (%)																																																																																															
398	162.7	121	7	1.5	<0.02																																																																																															
333	-	82	-	-	-																																																																																															
315	125.8	62	6	<0.2	<0.02																																																																																															
242	97.8	66	11	<0.1	<0.02																																																																																															
242	-	56	-	-	-																																																																																															
161	63.5	42	8	<0.1	<0.01																																																																																															
81	35.4	30	11	<0.1	<0.01																																																																																															
吸収線量 (kGy)	容器内圧の 上昇値 (kPa)	H ₂ (%)	N ₂ (%)	O ₂ (%)	CO ₂ (%)																																																																																															
398	162.7	121	7	1.5	<0.02																																																																																															
333	-	82	-	-	-																																																																																															
315	125.8	62	6	<0.2	<0.02																																																																																															
242	97.8	66	11	<0.1	<0.02																																																																																															
242	-	56	-	-	-																																																																																															
161	63.5	42	8	<0.1	<0.01																																																																																															
81	35.4	30	11	<0.1	<0.01																																																																																															

ページ	場所	種類	誤	正																																																																																																																																																																
I-53	2～3行目 10行目	本文 本文	水素発生量 (μ mol/g/kGy) は 実照射線量 の多少によらず同等で、 照射線量 の増大に伴う減少傾向は認められなかった。 表中の G 値は、 実照射線量 及び 照射線量率 によらず同等の値であった。	水素発生量 (μ mol/g/kGy) は 吸収線量 の多少によらず同等で、 吸収線量 の増大に伴う減少傾向は認められなかった。 表中の G 値は、 吸収線量 及び 吸収線量率 によらず同等の値であった。																																																																																																																																																																
I-53	表 2.1-34	表	<p style="text-align: center;">表 2.1-34 水素発生量の測定結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実照射線量 (kGy)</th> <th>容器内圧の上昇値 (kPa)</th> <th>試料質量 (g)</th> <th>ガス取り出し時の温度 (°C)</th> <th>大気圧 (kPa)</th> <th>測定系容器内圧力 (kPa)</th> <th>系統容積 (ml)</th> <th>水素濃度測定値 (ppm)</th> <th>水素発生量換算 (μ mol)</th> <th>水素発生量 (μ mol/g/kGy²³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>398</td><td>162.7</td><td>815.021</td><td>7.3</td><td>103.5</td><td>162.4</td><td>133.26</td><td>326459</td><td>2968</td><td>0.009</td></tr> <tr><td>333</td><td>-</td><td>801.567</td><td>6.1</td><td>103.5</td><td>140.7</td><td>126.72</td><td>259462</td><td>1952</td><td>0.007</td></tr> <tr><td>315</td><td>125.8</td><td>815.539</td><td>8.1</td><td>103.5</td><td>148.4</td><td>131.12</td><td>188548</td><td>1537</td><td>0.006</td></tr> <tr><td>242</td><td>97.8</td><td>818.133</td><td>6.3</td><td>103.4</td><td>139.3</td><td>130.22</td><td>214795</td><td>1644</td><td>0.008</td></tr> <tr><td>242</td><td>-</td><td>806.185</td><td>5.8</td><td>103.4</td><td>133.7</td><td>103.07</td><td>247132</td><td>1440</td><td>0.007</td></tr> <tr><td>161</td><td>63.5</td><td>818.867</td><td>6.5</td><td>103.4</td><td>127.5</td><td>130.19</td><td>144951</td><td>1015</td><td>0.008</td></tr> <tr><td>81</td><td>35.4</td><td>822.956</td><td>6.5</td><td>103.4</td><td>116.8</td><td>126.37</td><td>112815</td><td>702</td><td>0.011</td></tr> </tbody> </table> <p>注) 単位に記されている kGy は、表中の照射線量 (水換算) を示す。</p>	実照射線量 (kGy)	容器内圧の上昇値 (kPa)	試料質量 (g)	ガス取り出し時の温度 (°C)	大気圧 (kPa)	測定系容器内圧力 (kPa)	系統容積 (ml)	水素濃度測定値 (ppm)	水素発生量換算 (μ mol)	水素発生量 (μ mol/g/kGy ²³)	398	162.7	815.021	7.3	103.5	162.4	133.26	326459	2968	0.009	333	-	801.567	6.1	103.5	140.7	126.72	259462	1952	0.007	315	125.8	815.539	8.1	103.5	148.4	131.12	188548	1537	0.006	242	97.8	818.133	6.3	103.4	139.3	130.22	214795	1644	0.008	242	-	806.185	5.8	103.4	133.7	103.07	247132	1440	0.007	161	63.5	818.867	6.5	103.4	127.5	130.19	144951	1015	0.008	81	35.4	822.956	6.5	103.4	116.8	126.37	112815	702	0.011	<p style="text-align: center;">表 2.1-34 水素発生量の測定結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>吸収線量 (kGy)</th> <th>容器内圧の上昇値 (kPa)</th> <th>試料質量 (g)</th> <th>ガス取り出し時の温度 (°C)</th> <th>大気圧 (kPa)</th> <th>測定系容器内圧力 (kPa)</th> <th>系統容積 (ml)</th> <th>水素濃度測定値 (ppm)</th> <th>水素発生量換算 (μ mol)</th> <th>水素発生量 (μ mol/g/kGy²³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>398</td><td>162.7</td><td>815.021</td><td>7.3</td><td>103.5</td><td>162.4</td><td>133.26</td><td>326459</td><td>2968</td><td>0.009</td></tr> <tr><td>333</td><td>-</td><td>801.567</td><td>6.1</td><td>103.5</td><td>140.7</td><td>126.72</td><td>259462</td><td>1952</td><td>0.007</td></tr> <tr><td>315</td><td>125.8</td><td>815.539</td><td>8.1</td><td>103.5</td><td>148.4</td><td>131.12</td><td>188548</td><td>1537</td><td>0.006</td></tr> <tr><td>242</td><td>97.8</td><td>818.133</td><td>6.3</td><td>103.4</td><td>139.3</td><td>130.22</td><td>214795</td><td>1644</td><td>0.008</td></tr> <tr><td>242</td><td>-</td><td>806.185</td><td>5.8</td><td>103.4</td><td>133.7</td><td>103.07</td><td>247132</td><td>1440</td><td>0.007</td></tr> <tr><td>161</td><td>63.5</td><td>818.867</td><td>6.5</td><td>103.4</td><td>127.5</td><td>130.19</td><td>144951</td><td>1015</td><td>0.008</td></tr> <tr><td>81</td><td>35.4</td><td>822.956</td><td>6.5</td><td>103.4</td><td>116.8</td><td>126.37</td><td>112815</td><td>702</td><td>0.011</td></tr> </tbody> </table> <p>注) 単位に記されている kGy は、表中の吸収線量 (水換算) を示す。</p>	吸収線量 (kGy)	容器内圧の上昇値 (kPa)	試料質量 (g)	ガス取り出し時の温度 (°C)	大気圧 (kPa)	測定系容器内圧力 (kPa)	系統容積 (ml)	水素濃度測定値 (ppm)	水素発生量換算 (μ mol)	水素発生量 (μ mol/g/kGy ²³)	398	162.7	815.021	7.3	103.5	162.4	133.26	326459	2968	0.009	333	-	801.567	6.1	103.5	140.7	126.72	259462	1952	0.007	315	125.8	815.539	8.1	103.5	148.4	131.12	188548	1537	0.006	242	97.8	818.133	6.3	103.4	139.3	130.22	214795	1644	0.008	242	-	806.185	5.8	103.4	133.7	103.07	247132	1440	0.007	161	63.5	818.867	6.5	103.4	127.5	130.19	144951	1015	0.008	81	35.4	822.956	6.5	103.4	116.8	126.37	112815	702	0.011
実照射線量 (kGy)	容器内圧の上昇値 (kPa)	試料質量 (g)	ガス取り出し時の温度 (°C)	大気圧 (kPa)	測定系容器内圧力 (kPa)	系統容積 (ml)	水素濃度測定値 (ppm)	水素発生量換算 (μ mol)	水素発生量 (μ mol/g/kGy ²³)																																																																																																																																																											
398	162.7	815.021	7.3	103.5	162.4	133.26	326459	2968	0.009																																																																																																																																																											
333	-	801.567	6.1	103.5	140.7	126.72	259462	1952	0.007																																																																																																																																																											
315	125.8	815.539	8.1	103.5	148.4	131.12	188548	1537	0.006																																																																																																																																																											
242	97.8	818.133	6.3	103.4	139.3	130.22	214795	1644	0.008																																																																																																																																																											
242	-	806.185	5.8	103.4	133.7	103.07	247132	1440	0.007																																																																																																																																																											
161	63.5	818.867	6.5	103.4	127.5	130.19	144951	1015	0.008																																																																																																																																																											
81	35.4	822.956	6.5	103.4	116.8	126.37	112815	702	0.011																																																																																																																																																											
吸収線量 (kGy)	容器内圧の上昇値 (kPa)	試料質量 (g)	ガス取り出し時の温度 (°C)	大気圧 (kPa)	測定系容器内圧力 (kPa)	系統容積 (ml)	水素濃度測定値 (ppm)	水素発生量換算 (μ mol)	水素発生量 (μ mol/g/kGy ²³)																																																																																																																																																											
398	162.7	815.021	7.3	103.5	162.4	133.26	326459	2968	0.009																																																																																																																																																											
333	-	801.567	6.1	103.5	140.7	126.72	259462	1952	0.007																																																																																																																																																											
315	125.8	815.539	8.1	103.5	148.4	131.12	188548	1537	0.006																																																																																																																																																											
242	97.8	818.133	6.3	103.4	139.3	130.22	214795	1644	0.008																																																																																																																																																											
242	-	806.185	5.8	103.4	133.7	103.07	247132	1440	0.007																																																																																																																																																											
161	63.5	818.867	6.5	103.4	127.5	130.19	144951	1015	0.008																																																																																																																																																											
81	35.4	822.956	6.5	103.4	116.8	126.37	112815	702	0.011																																																																																																																																																											
I-54	3行目 6～8行目	本文 本文	高照射線量率 、 高照射線量条件下 での圧力を精度よく確認できた。 また、線量率と 照射線量 を変えた試験結果では、圧力容器内の圧力上昇値には線量率の違いによる影響は認められず、圧力上昇値が 実照射線量 に比例していた。	高吸収線量率 、 高線量条件下 での圧力を精度よく確認できた。 また、線量率と 吸収線量 が異なる条件での試験結果では、圧力容器内の圧力上昇値には線量率の違いによる影響は認められず、圧力上昇値が 吸収線量 に比例していた。																																																																																																																																																																
I-54	表 2.1-35	表	<p style="text-align: center;">表 2.1-35 圧力測定に用いたセメントペースト試料の G 値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実照射線量 (kGy)</th> <th rowspan="2">照射線量率 (kGy/h)</th> <th rowspan="2">容器内圧の上昇値 (kPa)</th> <th colspan="3">水分量 (mass%)</th> <th colspan="2">G 値</th> </tr> <tr> <th>自由水</th> <th>結合水</th> <th>全水分</th> <th>G_{H₂}(All)</th> <th>G_{H₂}(fw)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>398</td><td>4.3</td><td>162.7</td><td>20.0</td><td>10.1</td><td>32.1</td><td>0.095</td><td>0.44</td></tr> <tr><td>333</td><td>3.6</td><td>-</td><td>20.0</td><td>10.1</td><td>32.1</td><td>0.076</td><td>0.35</td></tr> <tr><td>315</td><td>3.4</td><td>125.8</td><td>19.9</td><td>10.1</td><td>32.0</td><td>0.062</td><td>0.29</td></tr> <tr><td>242</td><td>3.4</td><td>97.8</td><td>20.2</td><td>10.1</td><td>32.3</td><td>0.086</td><td>0.40</td></tr> <tr><td>242</td><td>3.4</td><td>-</td><td>20.2</td><td>10.1</td><td>32.3</td><td>0.077</td><td>0.35</td></tr> <tr><td>161</td><td>2.3</td><td>63.5</td><td>19.9</td><td>10.2</td><td>32.1</td><td>0.080</td><td>0.37</td></tr> <tr><td>81</td><td>1.1</td><td>35.4</td><td>19.9</td><td>10.2</td><td>32.1</td><td>0.11</td><td>0.51</td></tr> </tbody> </table>	実照射線量 (kGy)	照射線量率 (kGy/h)	容器内圧の上昇値 (kPa)	水分量 (mass%)			G 値		自由水	結合水	全水分	G _{H₂} (All)	G _{H₂} (fw)	398	4.3	162.7	20.0	10.1	32.1	0.095	0.44	333	3.6	-	20.0	10.1	32.1	0.076	0.35	315	3.4	125.8	19.9	10.1	32.0	0.062	0.29	242	3.4	97.8	20.2	10.1	32.3	0.086	0.40	242	3.4	-	20.2	10.1	32.3	0.077	0.35	161	2.3	63.5	19.9	10.2	32.1	0.080	0.37	81	1.1	35.4	19.9	10.2	32.1	0.11	0.51	<p style="text-align: center;">表 2.1-35 圧力測定に用いたセメントペースト試料の G 値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">吸収線量 (kGy)</th> <th rowspan="2">吸収線量率 (kGy/h)</th> <th rowspan="2">容器内圧の上昇値 (kPa)</th> <th colspan="3">水分量 (mass%)</th> <th colspan="2">G 値</th> </tr> <tr> <th>自由水</th> <th>結合水</th> <th>全水分</th> <th>G_{H₂}(All)</th> <th>G_{H₂}(fw)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>398</td><td>4.3</td><td>162.7</td><td>20.0</td><td>10.1</td><td>32.1</td><td>0.095</td><td>0.44</td></tr> <tr><td>333</td><td>3.6</td><td>-</td><td>20.0</td><td>10.1</td><td>32.1</td><td>0.076</td><td>0.35</td></tr> <tr><td>315</td><td>3.4</td><td>125.8</td><td>19.9</td><td>10.1</td><td>32.0</td><td>0.062</td><td>0.29</td></tr> <tr><td>242</td><td>3.4</td><td>97.8</td><td>20.2</td><td>10.1</td><td>32.3</td><td>0.086</td><td>0.40</td></tr> <tr><td>242</td><td>3.4</td><td>-</td><td>20.2</td><td>10.1</td><td>32.3</td><td>0.077</td><td>0.35</td></tr> <tr><td>161</td><td>2.3</td><td>63.5</td><td>19.9</td><td>10.2</td><td>32.1</td><td>0.080</td><td>0.37</td></tr> <tr><td>81</td><td>1.1</td><td>35.4</td><td>19.9</td><td>10.2</td><td>32.1</td><td>0.11</td><td>0.51</td></tr> </tbody> </table>	吸収線量 (kGy)	吸収線量率 (kGy/h)	容器内圧の上昇値 (kPa)	水分量 (mass%)			G 値		自由水	結合水	全水分	G _{H₂} (All)	G _{H₂} (fw)	398	4.3	162.7	20.0	10.1	32.1	0.095	0.44	333	3.6	-	20.0	10.1	32.1	0.076	0.35	315	3.4	125.8	19.9	10.1	32.0	0.062	0.29	242	3.4	97.8	20.2	10.1	32.3	0.086	0.40	242	3.4	-	20.2	10.1	32.3	0.077	0.35	161	2.3	63.5	19.9	10.2	32.1	0.080	0.37	81	1.1	35.4	19.9	10.2	32.1	0.11	0.51																						
実照射線量 (kGy)	照射線量率 (kGy/h)	容器内圧の上昇値 (kPa)	水分量 (mass%)				G 値																																																																																																																																																													
			自由水	結合水	全水分	G _{H₂} (All)	G _{H₂} (fw)																																																																																																																																																													
398	4.3	162.7	20.0	10.1	32.1	0.095	0.44																																																																																																																																																													
333	3.6	-	20.0	10.1	32.1	0.076	0.35																																																																																																																																																													
315	3.4	125.8	19.9	10.1	32.0	0.062	0.29																																																																																																																																																													
242	3.4	97.8	20.2	10.1	32.3	0.086	0.40																																																																																																																																																													
242	3.4	-	20.2	10.1	32.3	0.077	0.35																																																																																																																																																													
161	2.3	63.5	19.9	10.2	32.1	0.080	0.37																																																																																																																																																													
81	1.1	35.4	19.9	10.2	32.1	0.11	0.51																																																																																																																																																													
吸収線量 (kGy)	吸収線量率 (kGy/h)	容器内圧の上昇値 (kPa)	水分量 (mass%)			G 値																																																																																																																																																														
			自由水	結合水	全水分	G _{H₂} (All)	G _{H₂} (fw)																																																																																																																																																													
398	4.3	162.7	20.0	10.1	32.1	0.095	0.44																																																																																																																																																													
333	3.6	-	20.0	10.1	32.1	0.076	0.35																																																																																																																																																													
315	3.4	125.8	19.9	10.1	32.0	0.062	0.29																																																																																																																																																													
242	3.4	97.8	20.2	10.1	32.3	0.086	0.40																																																																																																																																																													
242	3.4	-	20.2	10.1	32.3	0.077	0.35																																																																																																																																																													
161	2.3	63.5	19.9	10.2	32.1	0.080	0.37																																																																																																																																																													
81	1.1	35.4	19.9	10.2	32.1	0.11	0.51																																																																																																																																																													

ページ	場所	種類	誤	正
I-55	15～16行目	本文	水素発生による圧力上昇については、 <u>高照射線量率、高照射線量条件下</u> での圧力を精度よく確認でき、常時測定において照射時間の増加に伴い圧力上昇が少し寝る傾向が認められた。	水素発生による圧力上昇については、 <u>高吸収線量率、高線量条件下</u> での圧力を精度よく確認でき、常時測定において照射時間の増加に伴い圧力上昇が少し寝る傾向が認められた。
	16～18行目	本文	また、線量率と <u>照射線量を変えた</u> 試験結果では、圧力容器内の圧力上昇値には線量率の違いによる影響は認められず、圧力上昇値が <u>実照射線量</u> に比例していた。	また、線量率と <u>吸収線量が異なる条件での</u> 試験結果では、圧力容器内の圧力上昇値には線量率の違いによる影響は認められず、圧力上昇値が <u>吸収線量</u> に比例していた。